

2019年3月期 第1四半期 決算説明資料

2018年8月8日

日本製紙株式会社



とともに未来を拓く

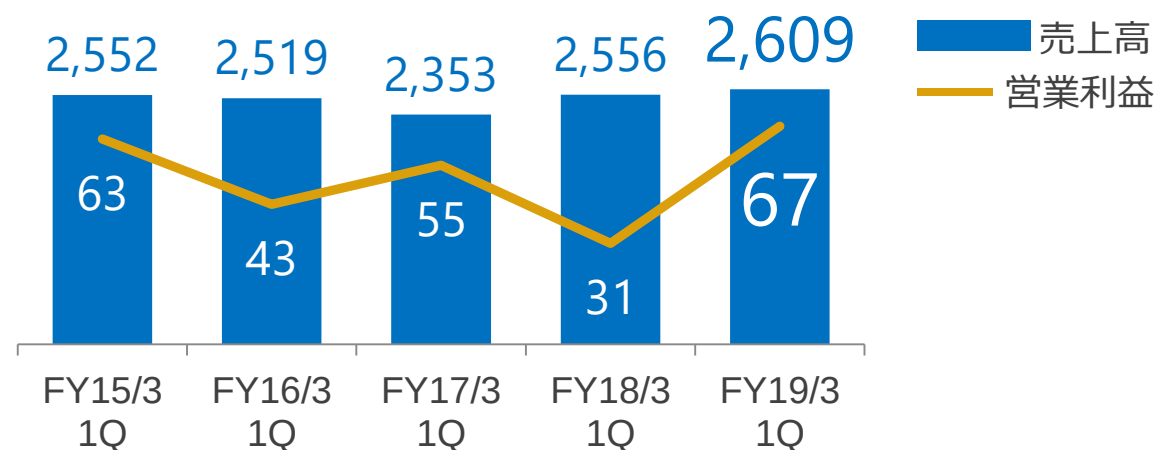
連結損益概要

(単位：億円)

	2018年3月期 1Q実績	2019年3月期 1Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	2,556	2,609	53	2.0%
営業利益	31	67	36	115.7%
経常利益	54	85	31	58.5%
四半期純利益*	56	▲65	▲121	—

* 親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位:億円)



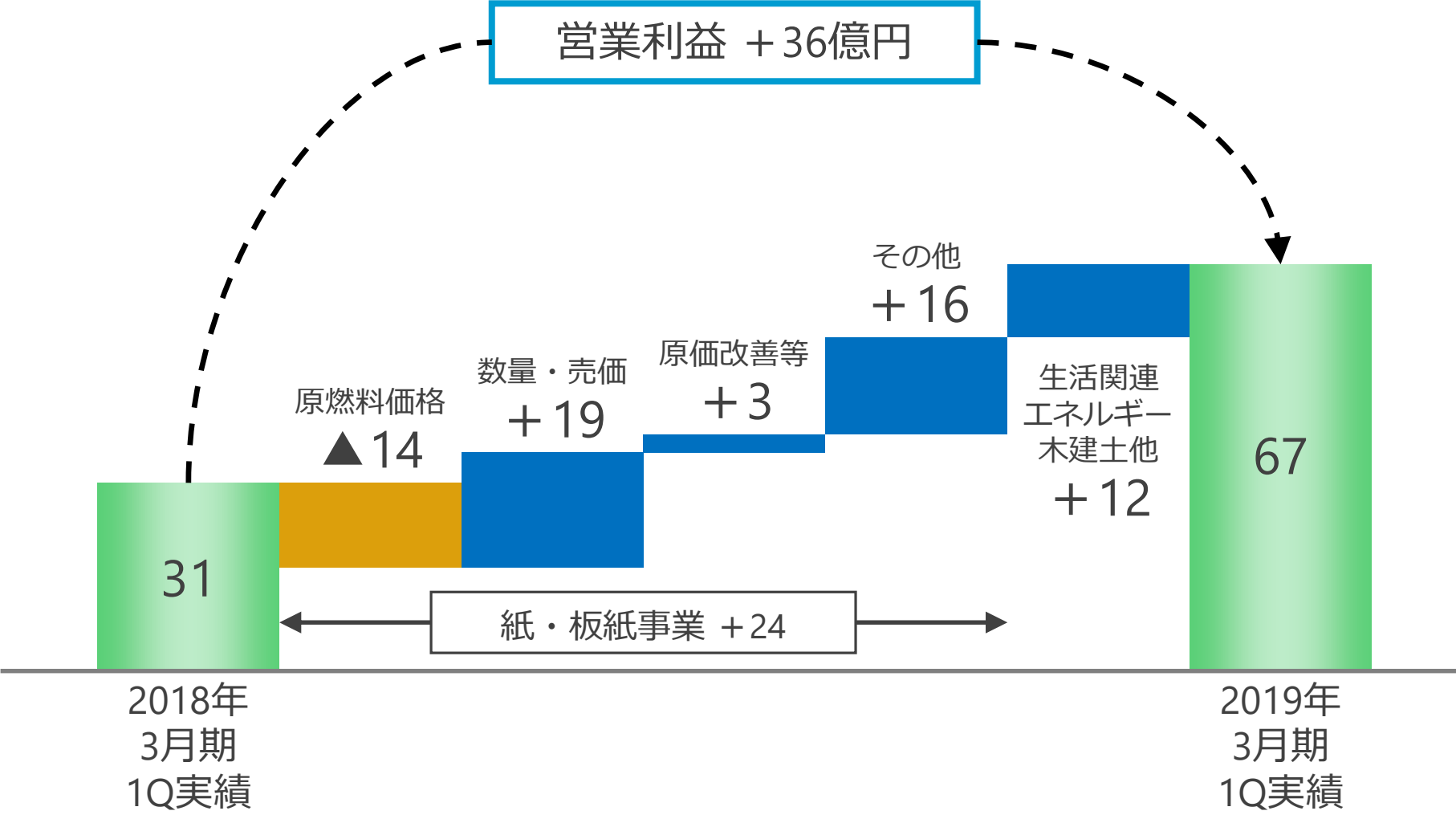
セグメント別概要

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2018年3月期 1Q実績	2019年3月期 1Q実績	前年 同期比	2018年3月期 1Q実績	2019年3月期 1Q実績	前年 同期比
紙・板紙	1,813	1,820	7	▲29	▲5	24
生活関連	488	492	4	39	33	▲6
エネルギー	36	87	51	7	23	16
木材・建材・ 土木建設関連	148	137	▲11	9	10	1
その他	71	73	2	5	6	1
合計	2,556	2,609	53	31	67	36

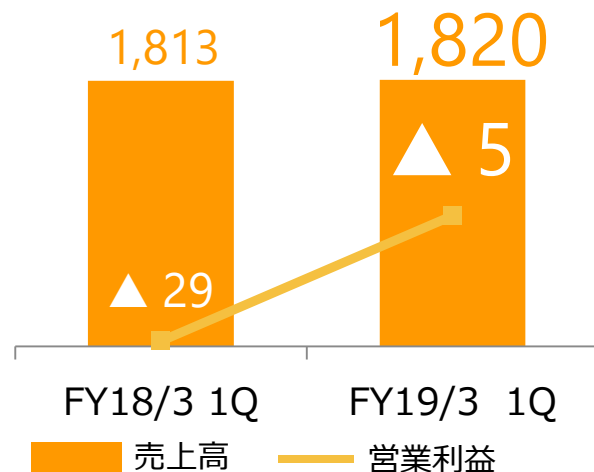
営業利益増減要因

(単位：億円)

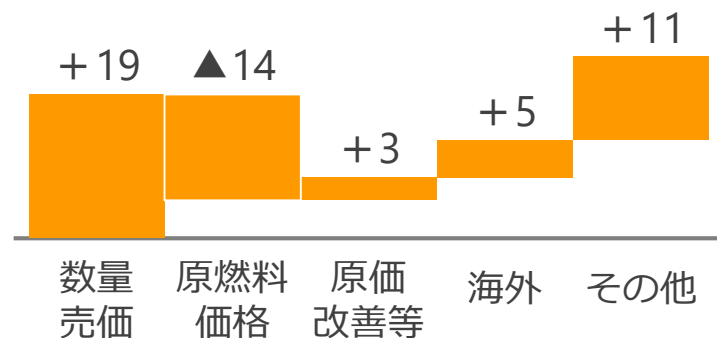


紙・板紙事業

売上高・営業利益（億円）



営業利益増減要因（億円）



○国内・洋紙

新聞の発行部数減少や印刷用紙の広告需要低迷などで国内販売数量は低調に推移。一方、輸出製品は、アジアを中心に需要が好調で、価格修正の効果も発現。

○国内・板紙

国内販売は、飲料関係を中心に堅調に推移。輸出製品は、アジア向けを中心に需要が好調で、輸出販売数量は前年同期比で12%増加。

○海外

オーストラリアンペーパー、十條サーマルは、それぞれ販売が堅調に推移。昨年売却した日本製紙USAの影響もあり、前年同期比で増益となった。

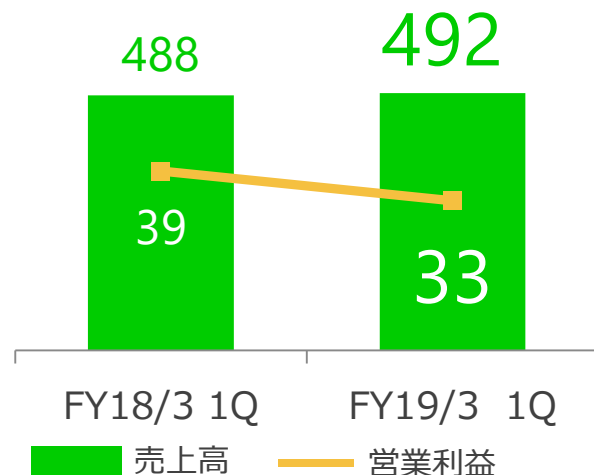
洋紙・板紙販売数量

	2018年3月期 1Q	2019年3月期 1Q	前年同期比
新聞用紙	237	226	▲5.0%
印刷用紙	405	380	▲6.1%
情報用紙	126	124	▲1.9%
その他	93	93	▲0.1%
国内	862	823	▲4.5%
輸出	97	100	2.8%
洋紙合計	959	923	▲3.8%
段ボール原紙	436	430	▲1.3%
紙器用板紙他	89	91	2.0%
国内	525	521	▲0.8%
輸出	43	48	12.4%
板紙合計	568	569	0.2%
洋紙・板紙合計	1,527	1,492	▲2.3%

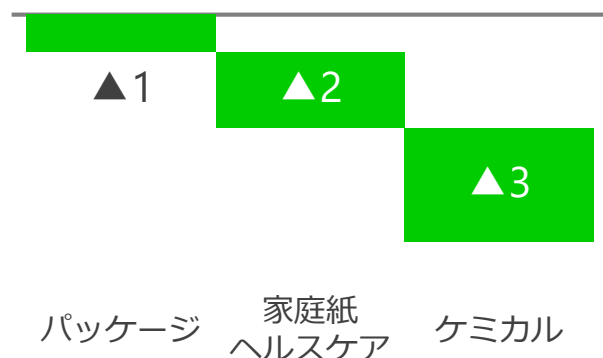
* 日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計（衛生用紙除く）

生活関連事業

売上高・営業利益（億円）



営業利益増減要因（億円）



○パッケージ

国内の液体用紙容器は、口栓付き容器の拡大により果汁飲料・野菜飲料向けを中心に販売数量は前年同期を上回った。日本ダイナウェーブパッケージングは、前年並みで堅調に推移。

○家庭紙・ヘルスケア

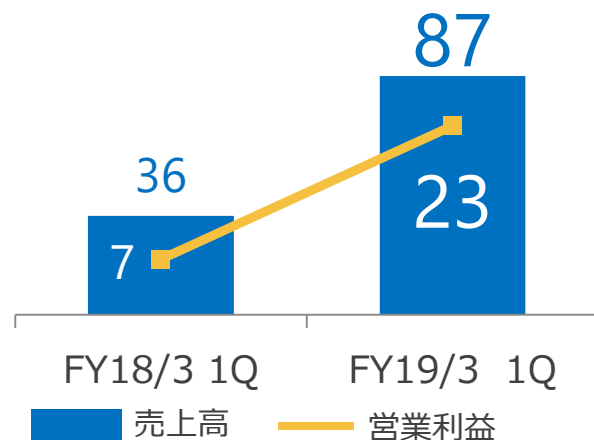
ヘルスケア製品やホテル向け業務用製品などの需要は堅調で、販売数量は前年同期を上回るが、原燃料価格の上昇が影響し、営業利益は前年同期を下回る。

○ケミカル

機能性コーティング樹脂や機能性セルロースの需要は堅調だったものの、機能性フィルムの販売数量は前年同期を下回る。原燃料価格上昇の影響もあり減収減益となった。

エネルギー事業

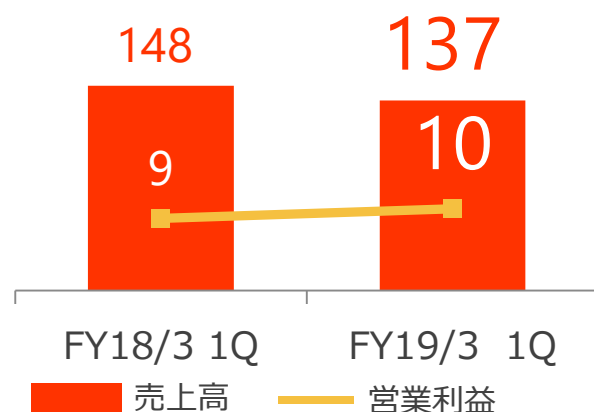
売上高・営業利益（億円）



今年3月に営業運転を開始した日本製紙石巻エネルギーセンターの石巻雲雀野発電所は順調に稼働中。
前年同期比で増収増益となった。

木材・建材・土木建設関連事業

売上高・営業利益（億円）



日本製紙木材は、新設住宅着工戸数が弱含みで推移したことや、原木の販売数量が前年同期を下回ったこともあり、減収減益となった。
AMCELは、欧州向けの販売比率が高まり、増益となった。

連結損益概要

(単位:億円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	10,465	10,800	335	3.2%
営業利益	176	250	74	42.0%
経常利益	186	250	64	34.4%
当期純利益*	78	▲180	▲258	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

“紙でできることは紙で。” 紙化ソリューション推進室を新設

クローズアップされる環境問題

- ・プラスチックごみによる海洋汚染
- ・中国の廃棄物受け入れ停止

当社グループの強み

- ・液体用紙容器における
原紙－加工－充填機の一貫体制
- ・「紙」に関する技術・知見の蓄積

脱プラスチックの動き

レジ袋、食器、ストローなど

紙化ソリューション推進室を設置

- 調査**：「紙化」のさまざまなニーズに柔軟に対応
開発：新製品の開発を推進し、ラインアップを拡充
販売：新たな販売機会の創出・獲得

参考資料

日本製紙株式会社



とともに未来を拓く

(参考) 紙・板紙内需と輸出

紙・板紙の内需と輸出

<2019年3月期 第1四半期 国内メーカー実績>

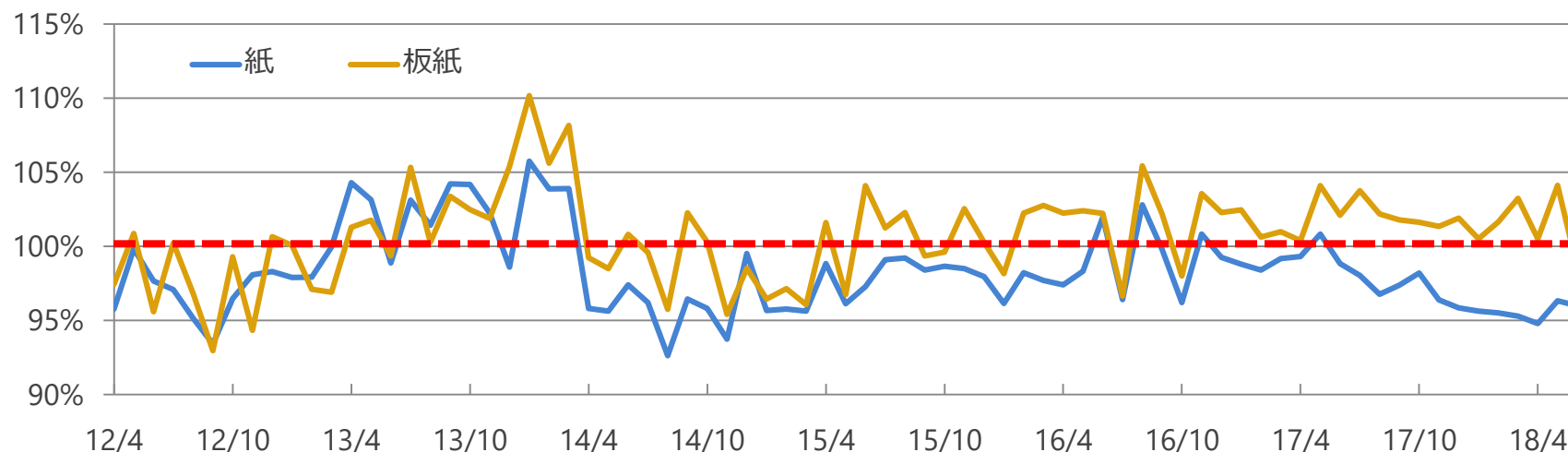
(数量：千 t)

	国内出荷高(A)		輸出(B)		合計 (A+B)		輸入(C)		内需(A+C)	
	数量	(前期比)	数量	(前期比)	数量	(前期比)	数量	(前期比)	数量	(前期比)
新聞用紙	641	▲4.9%	0	—	641	▲4.9%	1	▲59.1%	643	▲5.1%
印刷・情報用紙	1,739	▲5.0%	222	35.9%	1,961	▲1.7%	183	▲26.8%	1,922	▲7.6%
塗工印刷用紙※	960	▲7.4%	171	34.9%	1,131	▲2.8%	52	▲44.8%	1,012	▲10.5%
非塗工印刷用紙	443	▲4.5%	43	48.6%	486	▲1.4%	14	▲51.6%	457	▲7.2%
情報用紙	335	1.9%	9	7.8%	344	2.0%	117	▲8.0%	452	▲0.9%
その他	802	▲2.2%	74	5.3%	875	▲1.6%	13	18.1%	814	▲2.0%
洋紙 合計	3,182	▲4.3%	296	26.8%	3,478	▲2.3%	197	▲25.3%	3,379	▲5.9%
段ボール原紙	2,327	0.5%	130	13.9%	2,457	1.1%	11	▲7.9%	2,338	0.4%
紙器用板紙他	557	3.2%	7	▲19.8%	564	2.8%	75	12.9%	632	4.2%
板紙 合計	2,884	1.0%	137	11.6%	3,020	1.4%	86	9.8%	2,970	1.2%
紙・板紙合計	6,065	▲1.9%	433	21.5%	6,498	▲0.6%	283	▲17.3%	6,348	▲2.7%

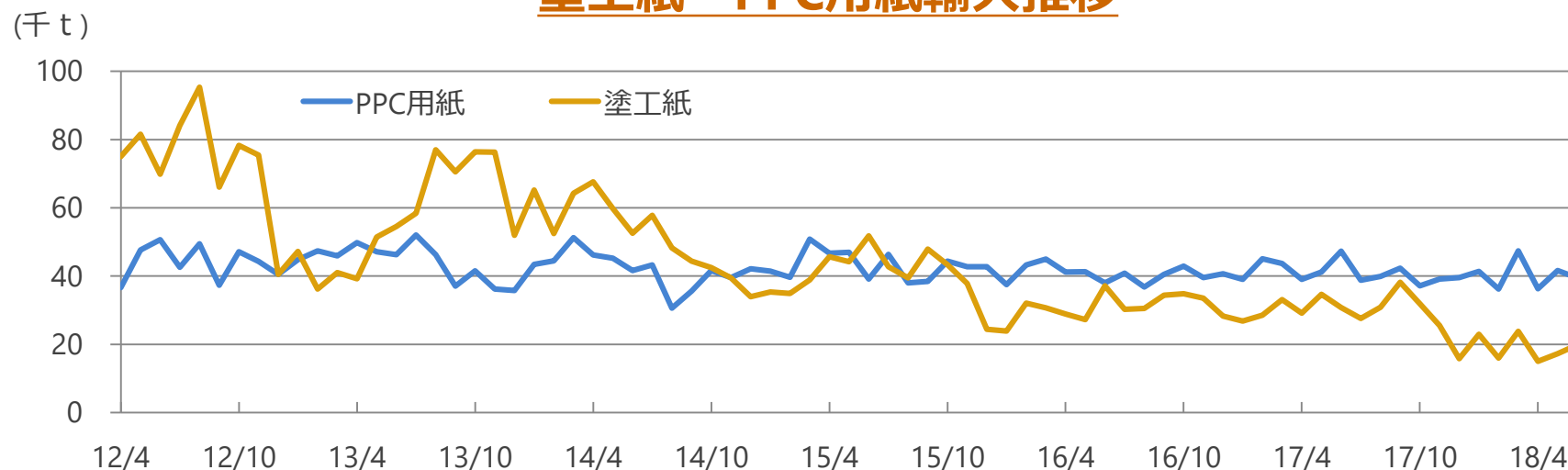
※ 塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

(参考) メーカ一国内出荷量(対前年)、塗工紙・PPC用紙輸入推移

メーカ一国内出荷量(対前年)

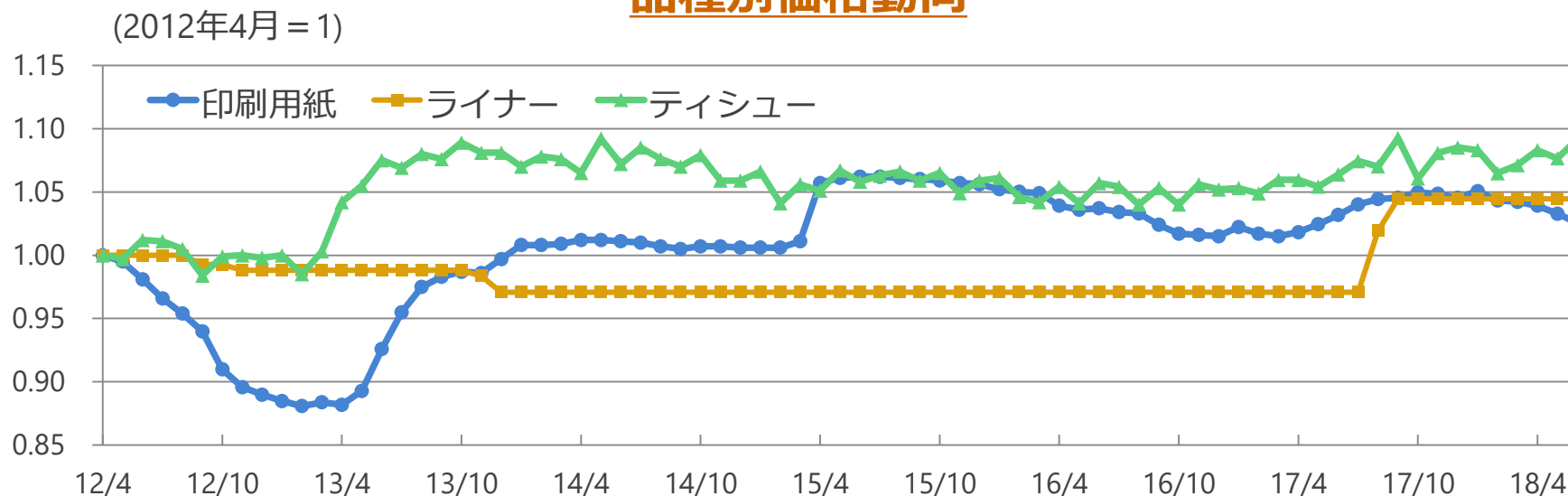


塗工紙・PPC用紙輸入推移

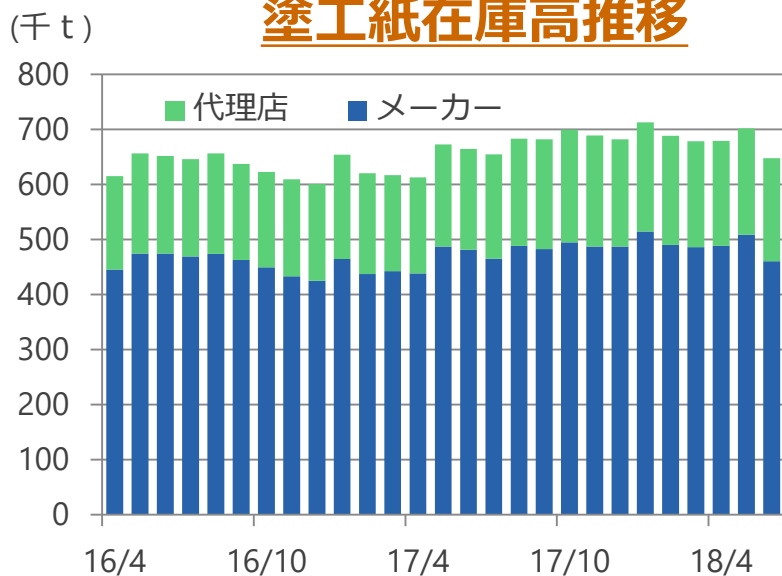


(参考) 品種別価格動向、塗工紙・段原紙在庫高推移

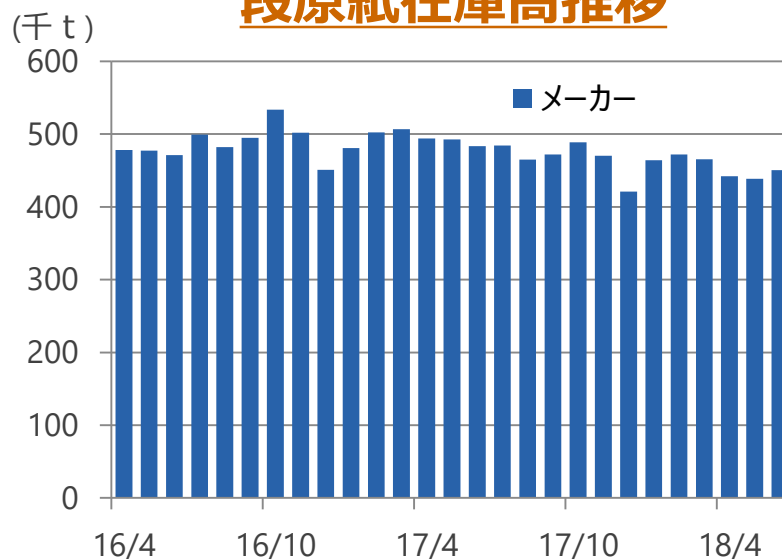
品種別価格動向



塗工紙在庫高推移



段原紙在庫高推移



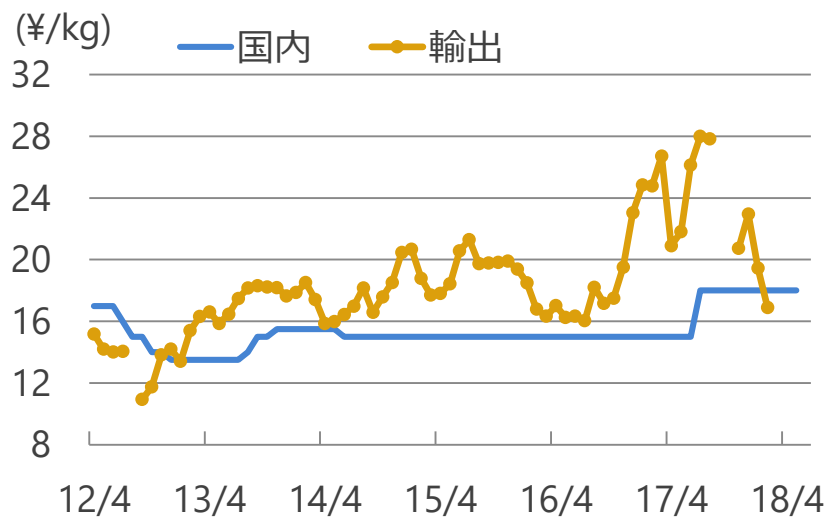
出所：日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」

(参考) 主要原燃料価格動向

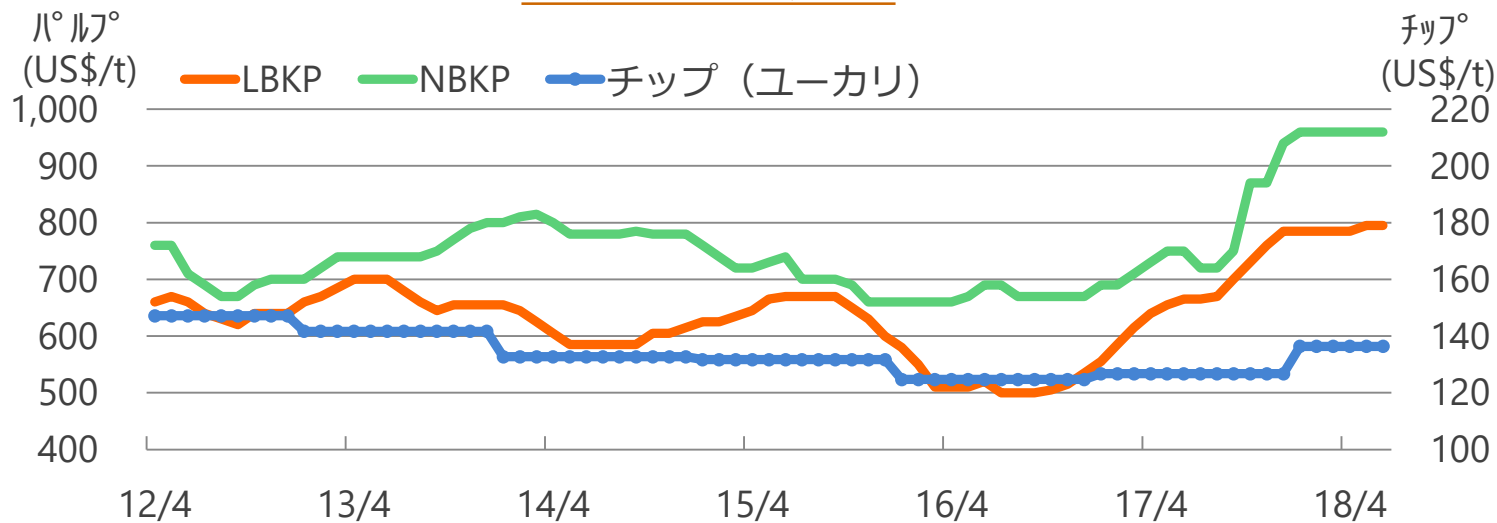
新聞古紙



段ボール古紙

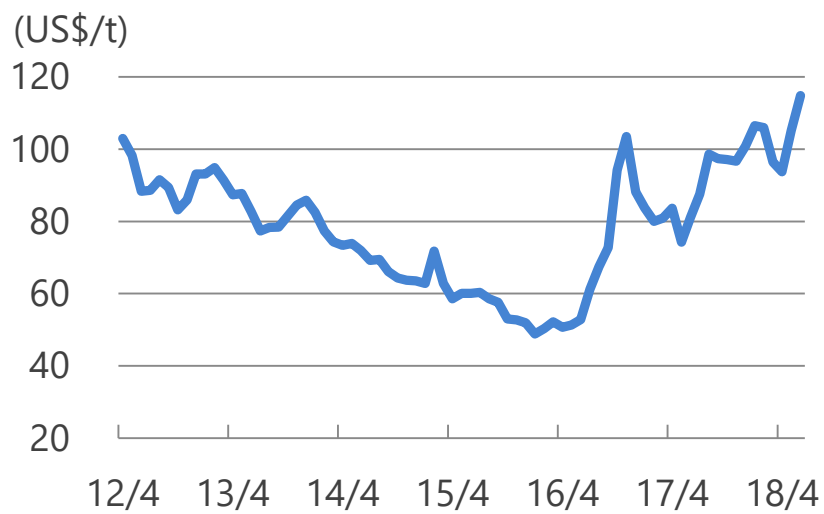


チップ・パルプ

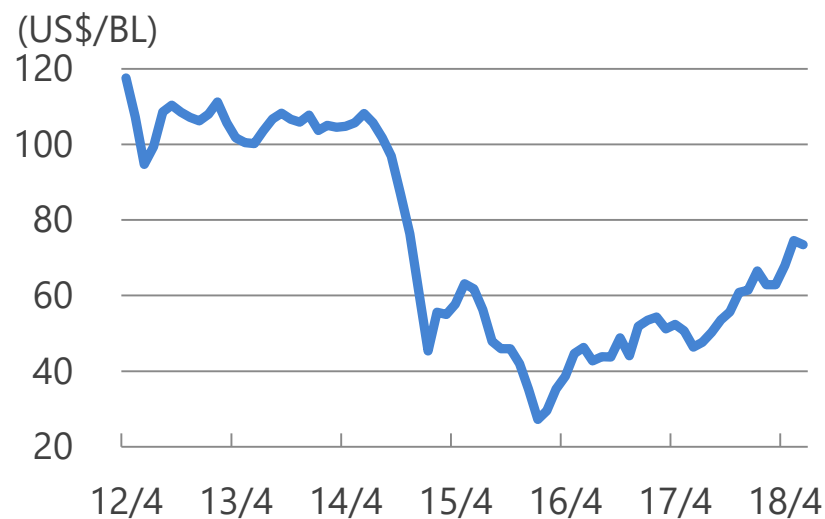


(参考) 主要原燃料価格動向

石炭



原油



<注意事項>

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

日本製紙株式会社